

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2018.6

vol. 146

第8回 心臓・血管病市民公開講座



平成30年5月12日(土)、かごしま県民交流センターにおいて、第8回心臓・血管病市民公開講座を開催しました。本会は、一般の方々に、心臓や血管病の循環器疾患を広く知っていただき、日常に役立てていただくために、平成23年から年に1回開催しております。今回のテーマは『大切な人のために、知っておきたい心臓疾患～家族を心臓病から守ろう(突然の胸痛に、慌てないために)～』としました。

開会は、田中康博院長の挨拶でスタートしました。

講演①は、田中秀樹救急科医長が、不安定狭心症・心筋梗塞について、エネルギーに熱くお話ししました。

講演②は、金城玉洋心臓血管外科部長の、急性大動脈解離についての講演でした。金城先生は、今年度4月に赴任したばかりで準備に大変であったと思いますが、分かりやすくお話ししました。

講演③は、急性肺塞栓症について、片岡哲郎循環器内科医長によりお話がありました。ご来場の皆さんと会場一体となって足の体操を実演しました。

講演④は、失神、突然の心肺停止：危険な不整脈について、塗木徳人循環器内科医長がお話ししました。当院スタッフがビデオ出演し、不整脈で失神する場面を演出しましたが、役者さん並みの演技が好評でした。

講演後は、菌田正浩循環器内科部長と福元京子東6階病棟師長の司会により質疑応答をしましたが、紹介しきれないほどたくさんのご質問をいただきました。

閉会は、中島均副院長による挨拶で終了しました。

今回は、過去最高の来場者数で、671名の市民の方に来ていただきました。皆さん長時間にわたり熱心に聞いておられました。この会からの情報発信が、皆様に貢献できますことを心より願って、病院一同努力してまいります。今後ともよろしくお祈りします。

(文責：循環器内科部長 菌田 正浩)



研修医の声



牧野 隆太郎

今年の4月から2年間鹿児島医療センターで勉強させていただきます、初期研修医1年目の牧野隆太郎と申します。研修開始から2か月ほど経過しましたが、日頃よりスタッフの皆様には温かくサポートして頂き心より感謝申し上げます。業務内容の把握や薬剤の学習など4月の初めは大変苦勞致しましたが、お陰様で少しずつ仕事を覚え、最近は職場の皆様とのコミュニケーションを楽しみながら日々過ごさせて頂いております。研修医1年目は同期が15人と多いので覚えて頂くのは大変かと思いますが、何かありましたら話しかけて下さると嬉しいです。まだまだご迷惑をおかけすることばかりですが、少しでも早く皆様のお役に立てるように努力して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



宇都 勇紀

はじめまして、4月より鹿児島医療センターでお世話になっております研修医1年目の宇都勇紀と申します。

生まれ育った故郷の地で医師としての第一歩を踏み出せたことをうれしく思います。

4月からの研修が始まり早、2ヶ月がたちました。指導医の先生方をはじめ、職員の方々、先輩、同期に恵まれ、すばらしい環境で研修することができています。医師としても社会人としてもまだまだ未熟で、迷惑をかけることが多い反面、学ぶことも多い毎日です。

これからの2年間で数々の成功、失敗もあると思いますがその一つ一つを大切に、医師としての生涯にわたる礎を築いていけるよう精一杯励んでいきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



阪口 有里

はじめまして。4月から鹿児島医療センターで研修をさせて頂いております、阪口有里と申します。学生時代それなりに勉強して医師免許を取得したはずですが、実際に働き始めてみると分からないことばかりで、日々学びの連続です。学生時代にもっと勉強していればよかったとも思いますが、実際に医療現場で働き始めたからこそ身に付いていっているのだとも思います。指導医からだけでなく、看護師等の医療スタッフからも丁寧に指導して頂き、とても恵まれた環境で研修させて頂いております。研修においては、手技や知識だけでなく、患者さんとの関わりについても学ぶことが多く、またその難しさも少しずつ理解してきました。不安を抱えている患者に寄り添った医療ができる医師となれるよう、先生方を手本としながら精進して参りたいと思います。何卒よろしくお願い致します。



和田 華菜子

4月より採用していただきました、研修医1年目の和田華菜子と申します。私は種子島の地で生まれ育ちました。県外の大学を卒業し、この春より鹿児島島の地に戻って参りました。久しぶりに鹿児島県民となった今改めて思うのが気候・県民の皆様「あたたかさ」です。

当院で研修を始めて早2ヵ月が経とうとしていますが、大学で学んだ座学とは一味違う実臨床の現場に日々驚きと新発見の連続です。まだ不慣れなことが多く院内を駆け回っている毎日ですが、先生方をはじめとした医療スタッフの方や患者さんからたくさんのことを教えていただき日々成長させて頂いております。

初心を忘れず患者さんに寄り添える医師になれるよう日々精進していこうと思います。まだ桜島の降灰に慣れておらず鹿児島本土ビギナーな私ですが、鹿児島を満喫しながら有意義な初期研修にできるよう一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



久保 純平

はじめまして研修医1年目の久保純平です。鹿児島大学出身ですので鹿児島という場所に不慣れなことなどはないですが、今まで机上のものでしかなかったことが実際に目の前にあり四苦八苦しながら毎日すごしています。先日ははじめて当直に入らせていただきました。まず何をすればいいのかや、機材の電源の付け方すらわからない私に2年目の先輩や上級医の先生方、看護師の方々の一つ一つ丁寧に教えていただき、医療センターを研修先として選んでよかったと感じています。5月は病理診断科の方をまわらせていただいていた、毎日顕微鏡を覗き込む毎日です。今までマクロに見ていた世界をミクロに見ることで得られる新たな発見に感動しています。これから先の研修も色々な科をまわらせていただきますが、何卒よろしくお願いたします。



長野 大悟

4月から臨床研修医として、鹿児島医療センターで研修をさせていただいております。

4月と5月は麻酔科をまわらせていただきました。右も左もわからない状態で、不安でいっぱいのスタートでしたが、指導医の先生方の丁寧なご指導や、手術室の看護師の方々のいろいろな面での助けのおかげで、日々たくさんのごことを学ばせていただき、充実した日々を送ることができています。周りの助けの力がすごく大きく、そのおかげで何とかやっていけています。感謝の気持ちでいっぱいです。それと同時に自分の力だけではまだ何もできないことを痛感させられます。これから2年近く研修させていただく中で、日々成長し、少しでも多くのことを吸収して、早く1人前に近づけるよう精進していきます。



堀 碧

初めまして、研修医1年目の堀と申します。私は4月から2か月間、糖尿病内分泌内科で勉強させていただいています。最初はカルテの使い方も分からず、基本的な業務内容から患者さんとの接し方まで、先生方には1から丁寧なご指導をいただいております。糖尿病内分泌内科が初めて回る科ということもあり、先生から患者さんとコミュニケーションをとることの大切さを教わりました。特に2型糖尿病は生活習慣病であり、治療の基本は1つ目に食事、2つ目に運動そして最後が薬による治療となります。そのため、患者さんと話をしながら生活の改善点を探し、治療のヒントを見つけていかなければなりません。4月から糖尿病内分泌内科にお世話になっていることで、病気の治療はもちろんのこと、患者さんと話をすることの大切さも学べました。これから他の科を回る上でも活かしていきたいです。



牧内 祐貴

今年の4月より鹿児島医療センターで研修をさせていただいている牧内祐貴と申します。出身は鹿児島市です。ラ・サール高校、鹿児島大学を卒業し、地元鹿児島で地域に根差した医療を日々学んでいます。趣味は写真、音楽鑑賞、お酒等です。休みの日は鹿児島のおいしい焼酎を友人達と飲み、楽しく過ごしています。臨床研修が始まり1ヶ月程度経ちましたが、分からないこと、できないことばかりで自分の未熟さと勉強不足を痛感する日々の連続です。しかし鹿児島医療センターの先生方をはじめ、医療スタッフの皆様方、事務職員の皆様方、患者さんやご家族の方々から優しく指導していただき、とても感謝しております。毎日少しずつではありますが、成長できていると感じています。鹿児島の地で一日でも早く、人の役に立てる一人前の医師になれるよう、日々精進してまいりますので、何卒よろしくお願いたします。



吉元 裕亮

4月より鹿児島医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。研修医1年目の吉元裕亮と申します。研修させていただき早2ヶ月あまりが過ぎ、右も左も分からない状況から少しずつではありますが、できることが増えてきて充実した研修を送らせていただいております。

しかしながらまだまだ至らない点が多く、指導医の先生方、看護師さんをはじめとするスタッフの方々にご迷惑をかけてばかりです。医療センターの一員として、親切に教えて下さる先生方や先輩の研修医の先生、スタッフの皆さんの力になれるよう努力を積み重ねてまいります。そして何より1日も早く患者様のお役に立てる医師になれるよう日々精進してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



堂込 雅貴

はじめまして、鹿児島大学出身の堂込雅貴と申します。鹿児島医療センターには2年間お世話になります。私は4月から第二循環器内科で研修をしており、指導医の御指導の下で診療技術や患者さんに対する姿勢を学んでいます。また、頼りになる研修医2年目の方々や15人の同期にも囲まれ、お互い切磋琢磨しあいながら忙しくも充実した日々を送っています。そんな恵まれた環境での研修2年間はこれから医師として働く中で大きな基礎になると思っています。まだまだ未熟ですが病院スタッフの一員として少しでもお役に立てるよう一杯頑張りますので2年間どうぞよろしくお願い致します。



山元 美和

はじめまして。4月より医療センターにて研修医として勤務しております、山元美和と申します。現在第一循環器内科をローテーションさせていただいております。慣れないことばかりでご迷惑をおかけすることも多いですが、先生方や看護師の方々をはじめ、スタッフの皆様は助けられ、とても充実した研修医生活を送っています。特に、救急搬送された患者さんの治療に携わり、退院されるまでに回復したときは、とてもやりがいを感じます。今楽しく仕事が出来ている環境に感謝し、初心を忘れず、二年間の研修を乗り切るものにしていきたいと思っております。まだまだ微力ですが、スタッフの皆様からより多くのことを吸収し、一日でも早くお役に立てるよう、日々精進していきたく思っております。これからも御指導のほど、よろしくお願い致します。



町田 透

はじめまして。今年度より鹿児島医療センターにて初期研修をさせていただき町田透です。

4月から3ヶ月間、第一循環器内科にて研修させていただいています。採血や患者さんの診察、問診、心エコー検査、カテーテル治療など多くの手技が初めてであり、充実した日々を送っています。

医師として働くうえで患者さんとの信頼関係を築いていくことが大切だと思っておりますが、限られた時間の中で信頼関係を築くにはコミュニケーションの取り方だけでなく、患者さんそれぞれの病態や治療の把握が必要であり、日々の勉強が不可欠であることを再認識しているところでです。

また、医療を行うには多職種連携が必要なので、情報を多職種間で共有できるように日々努めていきたいと考えています。

これからの2年間、各診療科での治療や基礎知識だけでなく、患者さんとの信頼関係、多職種間での情報共有などを学んで鹿児島島の医療に役立つ医師になれるよう努力していく所存です。よろしくお願いいたします。



水田 善之

お世話になっております。この度、鹿児島医療センターで初期研修させて頂くことになりました、水田善之と申します。私は大学時代、医学部準硬式野球部に所属しており、常に自分に求められている仕事は何か考えて行動してきました。あまりプレーで部員を引っ張っていくタイプではなかったのですが、いつも笑顔で声を出してみんなで楽しんで全力で部活ができるような雰囲気作りに尽力し、九州・西医体優勝という結果に貢献できたと思っています。このような経験を活かして、常に自分にできることを探し、努力し、微力ながら皆さんの力になりたいと思って、日々研修に励んでおります。今月は当院消化器内科にて研修させて頂いており、入院患者さんの治療方針を指導医と考えながら、内視鏡検査・治療を勉強させて頂いたり、実際に患者さんに腹部エコー検査をさせて頂いたりと様々な経験をさせてもらっています。まだまだ未熟者で、先生方には大変迷惑をかけるかと思いますが、一生懸命に頑張りたいと思っていますので、これからも宜しく願い申し上げます。



武 義人

はじめまして。武義人と申します。4月から脳血管内科で研修させていただいておりますが、急患や病棟での患者の対応でとても充実した毎日を送らせていただいております。鹿児島医療センターでは多くの脳卒中の患者が救急搬送されてきます。その中には一刻も早く治療を開始しなければならない方も多く、とても緊張感のある環境で初期対応をさせていただいております。点滴のルートや採血などの手技は、最初は出来ないことも多くご迷惑をおかけしましたが、数をこなしていくうちにできるようになり日々成長を感じております。病棟でも主治医として入院患者を受け持ち、最も必要な治療や検査などを自ら考えるため、多くのことを学ばせていただいております。分からないことは指導医の先生方に相談したら優しく指導してくださり、とてもありがたい環境で研修させてもらっているなと思います。まだまだ始まったばかりでご迷惑をおかけすることも多々ありますが、よろしくお願い致します。



川畑 深怜

4月から鹿児島医療センターで研修させて頂いております、研修医1年目の川畑深怜と申します。研修が始まって2か月が経とうとしていますが、まだ不慣れなこと、分からないことが多く自分の勉強不足を痛感する毎日です。指導医の先生方をはじめ、医療スタッフの方々、2年目の先生方、本当にたくさんの方々からご指導を頂きながら研修させて頂けること、大変嬉しく、また、有難いことだと感じています。まだまだ至らない点も多く、先生方をはじめ病院スタッフの皆様には多くのご迷惑をおかけしていることと思います。ご指導頂いたことはもちろんですが、患者さまや皆様との関わりの中から日々たくさんのごことを学び、医師としての知識・技術はもちろん、一人の人間としても成長できるように精進していきたいと考えております。1日でも早く皆様のお役に立てるよう、努力していきたいと思っておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター (心臓病・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域連携】 蘭田・丹後田・田上・吉永・迫田・中田・吉留・櫻木・田辺・前田

【がん相談】 松崎・森・水元・原田・久保・杉本・児玉

フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

